



僕の名前は  
「だよりん」  
で～す。

支援連携だより R6年度 第5号  
令和7年2月  
小田原支援学校 支援連携部  
題字:高A2年生徒作品

# 居住地交流特集 ~共生社会の実現へ向けて~

神奈川県では、共生社会の実現に向け、すべての子どもができるだけ同じ場で共に学びともに育つことを目指す、という基本的な考え方のもとで、インクルーシブ教育を推進しています。「かながわ特別支援教育推進指針」より

特別支援学校では、在籍する児童生徒の居住地域の学校や地域とのつながりを深めるための「居住地交流」を行っています。

居住地交流とは、特別支援学校の子どもたちが自分の住んでいる地域の小中学校へ行き、一緒に学び、学習や行事に参加することです。地域とともに過ごす仲間として関わる機会となります。

特別支援学校の子どもにとって居住地交流での学習は、小・中学校の子どもと教科の学習や学校行事などを通じて多様な考えに触れるとともに、コミュニケーション力を高めたり、お互いの個性の理解を深めたりする学びの場となります。また自分が住んでいる地域の同年代の子どもと学習活動をともにし、より多くの仲間と活動することにより、人間関係を広げて良好な関係を築くことや社会性を身に付けることが期待されます。小・中学校の子どもたちにとっては、地域の仲間として、障がいのある子どもと自然に関わりながら互いのことを正しく理解し、ともに助け合い、支えあって生きていくことの大切さを学ぶ機会となります。

## 本校の居住地交流の実施例

音楽会に一緒に参加して楽器を演奏しました。  
(小学校・通常の学級)

運動会の練習にも参加し、  
本番でも小学校の児童と一緒に走りました。  
(小学校・特別支援学級)

だれでも公平に参加できる  
「55分ボーリング」のルール  
を本校の児童がクラスで説明し、みんなで楽しみました。  
とても盛り上がりました。  
(小学校・通常の学級)

プールの授業に一緒に  
参加しました。  
(小学校・通常の学級)

買い物ごっここの授業に参加しました。売るものも学校で作って持っていました。  
みんなで楽しみました。  
(小学校・通常の学級)

国語の授業に参加しました。絵本の読み聞かせや文字探しゲームと一緒に取り組み、  
個別学習では支援学校で取り組んでいる課題を行いました。  
(小学校・特別支援学級)



←居住地交流の様子はこちら(居住地交流指導案集)

小田原支援学校のホームページに、居住地交流の特集ページができました。  
地域の先生方にも参考にしてもらえるよう指導案も載せました。

# 居住地交流のながれ

「ともに学び ともに生きる」  
を大切に考えています

## ① 小学部・中学部のすべての子どもたちが参加できます

- ・就学前からの地域とのつながりを大切にするために、1年生から交流できます。
  - ・特別支援学校の子どもたちも「社会の一員」として地域の中で生活をしていきます。
- 居住地交流では、地域の小中学校の子どもたちと一緒に学習活動を行うことで、つながりを深めながら将来の生活をより豊かにしていくことを目的としています。

小学部・中学部、どの学年からでも居住地交流を始めることができます!



## ② 交流校と打ち合わせをします

- ・居住地交流を円滑に進めるため、特別支援学校と地域の小中学校間で事前打ち合わせを行い、学習内容や交流の頻度、実施時期や回数など、具体的に決めていきます。
  - ・特別支援学校と小中学校の担任間で打ち合わせを行います。
- ケースによっては教育相談コーディネーターが打ち合わせに同席し、特別支援学校と交流校の先生方と情報共有をいたします。

お子さんの「よいところ」「がんばっているところ」をお伝えします。

居住地交流に向け、活動内容や環境整備等を一緒に考えます。



## ③ 居住地交流の実施

- ・居住地交流は教育課程の一環として在籍校の責任のもとに行います。
- ・交流校との打ち合わせで決定した実施時期、活動内容で居住地交流を行います。
- ・年度の初回の居住地交流については、在籍校の担任が付き添います。
- ・2回目以降については、児童生徒の状態や保護者の付き添い、これまでの実績等の状況を踏まえて、在籍校と居住地校との間で協議し、引率について対応を決めていきます。



参加の回数は保護者・本人の意向を確認させていただき、在籍校と交流校の話し合いの上で決定します。今年度は、年1～3回程度の実施が多く、月1回、2週間に1回実施したケースもありました。



## ④ 居住地交流のふりかえり・次年度の意向確認

- ・在校生は学年末の面談時(2月)に今年度の居住地交流について振り返りを行います。
- ・年度内に次年度の意向を確認します。参加希望の有無、参加される場合は、活動内容や交流の頻度、実施時期や回数など、現時点での意向をお伺いします。

今年度の小1～中2(新小2～新中3)の学年の児童生徒全員に、おたよりと(令和7年度)居住地交流希望調査を配付いたします。担任にご希望をお伝えください。

アンケート

